

らいてうの家 通信 33号

…平和・協同・自然のひろば… 2014. 7. 1.

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町 長 1278-720 ℡fax : 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F ℡fax : 03-3818-8626

7・8月のイベント お知らせ

らいてう講座Ⅰ 「エレン・ケイ」をまなびませんか？

講師:折井美耶子さん (NPO りいてうの会副会長・地域女性史研究会会長)

エレン・ケイと りいてうから 今を生きる姿勢を学びましょう。

場所:平塚らいてう記念「らいてうの家」上田市あずまや高原 TEL0268-74-1385

日時:7月5日(土) 13:30~15:30 資料代 300円



Ellen Key
1849-1926

音楽会①

第27回上田平和音楽祭

日時:7月27日(日) 13:30~16:00 参加費 1500円 学生 1000円

場所:上田文化会館ホール(上田市材木町1-2-3 TEL0268-22-0760)

出演:つじあやの 玉城ちはる 大石由梨香

地元小学校・高校音楽班・平和音楽祭特別合唱団合唱団。上田サブニューマ

音楽会②

中川美保サクソコンサート

らいてうの家で 中川美保さんが愛と平和を奏でます

日時:7月28日(月) 13:30~14:50 参加費:1,000円

場所:平塚らいてう記念「らいてうの家」上田市あずまや高原

TEL0268-74-1385



子ども祭り 日時:8月9日(土) 10:00~12:30

場所:葉草の森“りんどう”(あずまや高原) 参加費:1,000円

1 上田サブニューマと踊ろう(パパもママも子どももみんな一緒に踊ろう) 10:00~11:00

おやつタイム にらせんべいとポップコーン 11:00~11:30

2 大和田葉子さんとフルートを吹こう 11:30~12:30

フルートを持っている人は集まれ! 大和田さんと一緒に簡単な曲を演奏します。

フルート演奏について聞きたいことのある人は質問するチャンスです。

午後也大和田さんに聞きたい人はお弁当を持ってきてね。

*らいてうの家は標高1,500mの高原です。長袖上着と靴下を必ず持ってきてください。

らいてうの家 6月の訪問者 寸描

6月9日 立川から吉沢さんご夫妻。「茶遊つうしん」というミニコミ紙を発行しておられるとか17号に『「らいてう」と「花子」を訪ねて』と題して「らいてうの家」と山梨県立文学館で開かれている「村岡花子展」を訪れた様子を1ページにわたって書いてくださっています。家の様子もカラー写真で素敵に撮って、何枚も掲載してくださっています。ありがとうございました。

6月15日 松本から百瀬方康さんご夫妻とお母様3人でお見えになる。長野県松本出身の青鞥社員。百瀬しず子の縁戚の方々です。結婚して五明倭文子と名乗り『青鞥』に3作品を掲載。のちに読売新聞記者となり、特派員として釜山・京城・北京などを2か月取材旅行し、「よみうり婦人欄」へ見聞記を連載。1919年(T8)の事。新聞記者としても、海外特派員としても草分け的な方でした。米田館長が取材に伺ったことで「らいてうの家」を知りおいで下さったとのこと。お土産にお菓子をいただきました。

6月22日 雨の中、NPOらいてうの会常任委員の小池道子さん(昨年までニュース編集委員として活躍しかし脳梗塞を起こされ、ただ今リハビリ中。一刻も早いご回復を祈っています。)の息子様がお二人でみえられた。館内や庭の写真をたくさん撮られた。「リハビリに励む母に見せてあげたい。」とのことでした。道子さんの復帰を一同待ちわびております。

感想ノートから・・・

- ・6.14 やや涼しい日でしたので暖かいお茶にホッとしました。10年という年月がたつのらいてうの家は新しくきれいでした。みなさんの知恵で作られ、守られていることに感心しました。らいてうのいまだに新しい意気込み——私たちは失望しないでしょう——に勇気づけられました。NHKの放送を2月ごろに見て、実際に来られて本当に良かったです。ありがとうございました。(埼玉・A)
- ・6.14 久しぶりの当番です。昼間はエゾハルゼミの鳴き声がかまびすしい！夕暮れ時は静かになり、小鳥たちが呼び合う。いま17:00はホーホケキョ！の素晴らしい鳴き声に魅了されています。カッコウも鳴き始めました。この空間の美しさと静けさのやすらぎは何ものにも代えられない貴重な宝ですネ！(東京・S)
- ・6.16 昨日・今朝と参りました。念願の訪問です。ハルゼミが沸き立つように鳴いて歓迎してくれていました。先行きの不安な混迷の今こそらいてうの思想を思い起こし、日々の仕事と暮らしを厳しく見直したいと思えます。何より次世代につたえなくては・・・
@ りいてうの 思索の暇の 息きこゆ 小机にありし 湯呑の跡に
(東京・K)
- ・6.16 ようやく伺うことができました。「元始女性は太陽であった 平塚らいてうの生涯」の映画製作に携わってから何年たったことでしょうか。忙しさにかまけてお訪ねしないままに「らいてうの家」開館から9年が過ぎ、日本女子大学の仲間3人と参りました。本当に良いところですね。私の想像をはるかに超えるすばらしい「らいてうの家」と自然に感激し、これからはこの場所の宣伝係になろうと思えます。ずっと一緒に歩いてきた高野悦子さんが昨年(2013年)亡くなってしまいましたが、高野さんも訪問が叶えられずにいました。高野さんに報告し、また一緒に、信州と共にありたいと願っています。(元東京国際女性映画祭 director ・O)
- ・6.16 昨日・今日 久しぶりの「らいてうの家」楽しみました。家の周りも内部も より充実しているのがうれしい。そして素敵におもてなしいただいて、「らいてう」でつながる友情に感謝しております。(日本女子大学平塚らいてう研究会 ・Y)